

ラジオ体操の町に

答 関係機関と協議



古賀 ひろ子 議員

問 コミュニティ活動推進で地域課題を解決する方策「食べるために筋肉をとおう、元気でありつづけるために筋肉をとおう」について提案。

宇美町食育・地産地消推進計画の概要は。

農林振興課長

町民一人ひとりが健康で心豊かに暮らせるよう食生活の改善による健康の増進を基本とし、「食育」の町づくりを進めるため、地域や家庭、保育園、学校、生産者、医療機関、行政などが連携して「食育」に取り組み、総合的かつ計画的に推進する。

問 食育推進活動団体とは。

健康づくり課長

健康づくり推進会は、地域において食を通じた健康づくりのボランティアとして活動。

昭和60年に設立し、

現在の会員は32名。会員養成を目的としたヘルスメイト講座などを実施している。

問 町民農園の現状と活用推進は。

農林振興課長

町民農園は、昭和53年から開園。現在、79区画全て利用されており、応募者数においては同数程度であった。

さんさん21事業の協力員は、現在20名。農作物の作付けや栽培方法、竹林に関する学習会などを実施している。

また、小中学生を対象にサツマイモやジャガイモなどの植え付けから収穫、さらには、収穫物の販売までを体験してもらおう取組なども行っている。

今後も町民農園の活用促進や協力員の募集に努める。

問 宇美町をラジオ体操の町にしてはどう

か。地域でのラジオ体操の現状把握は。

社会教育課長

夏休み期間で49行政区中45行政区が実施している。

6時30分から実施12行政区、7時から実施33行政区。

実施回数は、最少6回から最多27回まで。通年実施は、炭焼地域で、愛好者を中心にほぼ毎日10名から20名程度参加、町内で3件

把握している。

問 町制100周年に向けラジオ体操の公開放送と指導員の養成ができないか。

町長 4年後、節目の2020年は、宇美町にとって意義ある年にしたい。

ラジオ体操を含め健康づくり、仲間づくり、体力づくりなど地域、関係機関と連携を図り検討する。



地域とラジオ体操



小林 征男 議員

スポーツツーリズムの推進を

答 関係者と連携しPR

問 宇美町総合戦略には、スポーツ資源を最大限に活用し、スポーツツーリズムを推進するとあるが基本的な考えは。

社会教育課長

宇美町には、総合スポーツ公園をはじめ、誇れるスポーツ施設があり、町内外の利用者に数多く活用されている。

様々なスポーツ大会やスポーツイベントの開催、また、大会への参加や応援観戦のために、宇美町を訪れ観光地にも足を運んでもらい、町の良さを広めるスポーツツーリズムを推進する。

問 宇美町は武道が盛んだと思うが現状は。

課長 スポーツ少年団は、柔道教室、剣道教室、合気道教室、空手道6団体、武道関係の

団体はそれぞれ活発に活動している。子育連主催の子ども相撲大会などが開催され、宇美町は、熱心な指導者のもと、武道に力を入れ、武道が盛んな町になっている。

問 宇美町体育協会は、柔道、剣道、合気道、弓道、相撲など青少年健全育成のために熱心に子どもに対する指導を行っている。宇美町独特のものではないか。

課長 福岡刑務所の刑務官の方々には、児童生徒へ熱心な指導をいただいている。

全国青年大会では、柔道、剣道競技で優勝するなど数多くの輝かしい成績をおさめている。

問 武道を活かしたスポーツツーリズムの推進を。

課長 子どもから大人まで剣道、柔道など数多くの武道に親しみ、大小様々な大会が開催されている。

柔道の金鷹旗大会では、町立武道館で女子選手合同練習会があつ

たと聞いている。盛んな武道大会を関係者と連携し更に充実させ、積極的にPRすること、にぎわいと観光にも繋げながらスポーツツーリズムの推進を行う。



宇美町武道館